

IVUS の読影という、冠動脈インターベンションにとって重要なテーマについて、内容としては IVUS 観察による症例検討であった。

内容は急性冠症候群において血栓が関与した病態から、安定型狭心症とみられたが不安定プラークを IVUS で診断されたもの、また病変的には冠動脈解離から、冠動脈血腫といった病態まで内容は多彩であった。

これまで IVUS に関しては、それなりには経験していたつもりであったが、短時間であるがこのような形で集中的に、検討した経験は私にはなく、IVUS をみる眼をトレーニングするという点では有意義だった。

フェローコース全体を通して、グループディスカッションの形式は若干形を調節する必要も感じられたが、コースの内容として講義を聴き続けるよりも、時間がかかり効率が悪いがディスカッション形式に時間を頂きたいと個人的には考えている。